

科目名	必修／選択	単位数	学年	学科
地理総合	必修	2	1	普通科

科目の概要	<p>持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察することに加え、グローバルな視座から国際理解や国際協力のあり方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察し、地図や地理情報システム（GIS）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する科目です。そのために、作業的で具体的な体験をともなう学習をより一層重視して、さまざまな諸課題を日常生活と関連づけて取り扱い、地理的な技能を身に付けるとともに、地理学習の有用性に気づき、学習意欲を高めることに配慮した内容や方法を工夫しています。現代世界や生活圏の諸課題について、主に主題的な方法を基にして学習できるようにしているのも、そうした点をふまえたものです。</p>
-------	--

教材名	教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院)
	副教材	新編 地理資料 2024 (とうほう)

担当者	後藤亜聡 花海直人 矢崎一人
-----	----------------

学習到達目標	<p>①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</p> <p>②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。</p> <p>③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めます。</p>
--------	---

学習方法	<p>地理総合では、授業を中心にして、必要となる知識や技術・技能法を身につけていくことを目標とする。授業の予習をすることは必要ではないが、授業には積極的に臨み、その時間内で出来る限り、理解する。また、復習をしっかりとすることにより、次の授業への準備も兼ねてほしい。</p>
------	--

評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業での取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出状況 授業に対する姿勢
評価基準と評価規準 ルーブリック	A	地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などを理解し、まとめる技能を習得している。	地理的な課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を習得している。	地理に関わる諸事象について、課題等を主体的に追究、解決しようとする態度を養う力を習得している。
	B	地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などは不十分だが、まとめる技能を習得している。	地理的な課題の解決に向けて構想したことを説明したり、それらを基に考察したりする力を習得している。	地理に関わる諸事象について、課題等への取り組む態度を養う力を習得している。
	C	地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などは不十分で、まとめる技能も習得していない。	地理的な課題の解決に向けて構想したことを説明したり、それらを基に考察したりする力が不十分である。	地理に関わる諸事象について、課題等への取り組む態度をが不十分である。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	第1部 1-1 地球上の位置と私たちの生活 1-2 地図の役割と種類	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	4	
5	2-1 現代世界の国家と領域 2-2 グローバル化する世界	・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	7	
6	第2部 1-1 世界の地形と人々の生活 1-2 世界の気候と人々の生活 2-1 複雑に絡み合う地球的課題	・地球の地形、自然環境を理解する。 ・世界の植生、気候区分を理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	8	
7			5	
8	2-2 地球環境問題 2-3 資源・エネルギー問題	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。	4	
9	2-4 人口問題 2-5 食料問題 2-6 都市・住居問題	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	7	前期期末考査
10	第3部 1-1 日本の自然環境 1-2 地震・津波と防災	・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。	8	
11	1-3 火山災害と防災		6	
12	1-4 気象災害と防災 1-5 自然災害への備え	・さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。	6	
1	2-1 生活圏の調査と地域の展望		4	
2	第1部 1-2 世界の気候と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	6	後期期末考査
3	1-3 世界の言語・宗教と人々の生活 1-4 歴史的背景と人々の生活 1-5 世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	5	